

「御田植神事」が行われました

5月5日(日・祝)、伊作田稻荷神社にて「御田植神事」が行われました。御田植神事は御田祭ともいわれ、田植えから稲の収穫までの一連の流れを演じる神事で、田辺市の指定無形民俗文化財に指定されています。

社前の広場の四方に竹を立てしめ縄を張った所を田と見立て、神主がお祓いをし、巫女が豊栄の舞を奉納した後、総代らが「あぜ草刈り」「あぜ塗り」「代かき」などの動作を演じ、田の準備が出来た後は、稲成小学校の6年生が早乙女役を演じ、田植えと稲刈りの動作を行いました。

そして最後には盛大に餅まきが行われ、参加者らはたくさんの餅を拾い盛り上がりました。



令和6年6月号 公民館だより

稲成

未来へつなぐ道
田辺市

【発行】稲成公民館

【館長】倉谷 修治 【主事】小倉 拓

【事務所】田辺市東山一丁目5番1号

【TEL】26-4908 【FAX】24-8323

【WEB】<http://www.city.tanabe.lg.jp/>

【稲成公民館区の人口と世帯数】(令和6年4月末現在)

人口3,181人(男性1,500人・女性1,681人) 世帯数1,516世帯



「？」

稲成公民館長 倉谷 修治

米作りをする農家さんが年々減っていく中で、稲成のあちこちの田んぼでは、神社のお田植え祭が終わると同時に、待っていたかのように苗が植えられ始めました。食料の自給率が私たちの食生活の変化とともに低下の一途をたどっております。食料の63%ほどを輸入に頼っている今、今後気候変動や異常気象、自然災害など、いつも必要な量を輸入できるとは限りません。そうなってしまうとたちまち私たち日本人は食糧危機に瀕します。そうならないためにも自分なりに地産地消を心掛け、自給率をあげる努力をしたいものです。

ところで、毎年この時期になると梅農家さんの多いこの稲成地区ではコンテナを積載した軽四トラックが右往左往している風景が見られるのですが、今年は妙に静か。ローカル新聞に掲載されていたように、今年の梅は不作の上に雹被害にもあい例年の3割程度とか。自分の意のままにならない自然を相手に事業を続けていくことの厳しさを今年は輪をかけて知ることになりそうです。

話は変わって、昨今何かあれば「…ハラ」「…ハラ」とまあよく目に耳にします。日常生活では「ワタハラ」「マリハラ」「モラハラ」「エイハラ」「フタハラ」等、職場では「パワハラ」「マタハラ」「オカハラ」「リモハラ」「バタハラ」…等、皆さんは一体どれだけご存じでしょうか？いじめ問題ともよく似た解釈で話の受け手が圧力と感じれば「…ハラ」となってしまう、日常会話のつもりで話をしていてもそれがなにかしらのハラスメントととられてしまうこともあり、うかうかと冗談の一つも言えない、そんな社会になりつつあるような気配で、なんだか寂しい思いがします。

稲成町内会では皆様に稲成町に住んで良かったと思ってもらえるよう、町民の皆様の目にはつかないところで、町内会役員の方々は様々な取り組みに関する計画や活動を行っております。4月中旬に行った溝掃除をはじめ、草刈りや地域と小・中学校との協議会への参加、また神社が催す祭典のお手伝いなどです。何事をするにもこのような縁の下の力持ちの方の存在があってこそ、私たちは平穏に暮らすことが出来ています。

NHKの朝ドラで主人公が自分の思いや考えと違う意見を聞いた時に「?(はて)」を発します。相手がどのような考えや思いで、そのような言葉を発したのか？自分との考えの相違はどこからのものなのか…物事に「絶対」とか「完璧」といったことは早々あるものではありません。何事も決めつけないで「?」一呼吸おいて、否定から入っていくのではなく、その物事についてよく考えてみて、その意見を尊重しながら理解を深めていくことがお互いを認め合うことにつながっていくように思います。

町内会や公民館の委員さんがプライベートな時間を割いて町民のためにと、企画されました行事などへは、積極的に参加していただければ幸いです。

稲成町内会長 挨拶

稲成町内にお住まいの皆様、去る4月27日の「稲成町内会総会」において選任されました、町内会長の山田でございます。

町内会の仕事は多岐にわたり、まず皆様の安心・安全のため、農道・市道・県道等の補修改良を当局へ要求し、実現を図るべく努力します。特に子供達の通学路は気を使っています。また、近年の豪雨に対し、心配される河川の浚渫等については、県当局へ強く働きかけていきます。

そして災害に強い地域を作り、皆様との絆も作るため、夏祭り・さくら祭りなどを開催いたしますので、多くの方々のご参加をお待ちしています。楽しく交流を図りましょう。また、地域の環境を良くするための小溝掃除や河川の堤防の草刈り作業にはご協力をお願いします。

皆様の身の回りでお困り事があれば、町内会の役員に相談してください。

このような活動をするためには、少しでも活動資金が必要です。ほとんど役員はボランティアの精神で行っていますが、それにも限界があります。町内会に入っていない方には、この機会に是非ご加入頂ければ幸いです。

今後とも稲成町のために智恵を出し合い、協力していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

稲成町内会長 山田 能久

各区長の紹介	谷上地区	荒光地区	馬場平地区	糸田地区	谷地区	下村地区
	澤田 博之	井上 栄治	小林 茂	服部 修蔵	前田 登	尾崎 博文

動鳴気峡整備作業を行いました(稲成町内会)

5月12日(日)、町内会の各区の区長をはじめ、区の役員の皆様方にご参加いただき、動鳴気峡の草刈り等の整備作業を行いました。

ご協力いただきました皆様、誠にありがとうございました。



河川堤防の草刈り作業のお知らせ(稲成町内会)

河川堤防の草刈り作業等を下記のとおり行います。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。なお、当日は気温・湿度が上がり蒸し暑くなることが予想されます。熱中症など体調管理には十分ご注意ください。

◎日 時 > 令和6年7月7日(日) 7:30~8:00頃開始

◎作業区域 > 稲成川(両岸)・荒光川(両岸)・左会津川(右岸)

むつみ町内会長 挨拶

この春より、むつみ町内会長を務めることとなりました森脇です。この度、選任いただくまで、町内会のことにはあまり関わった経験はないのですが、住民自治の大切さは十分に認識しております。できる限りの力をつくさせていただきますので、是非とも、ご協力をお願いいたします。

高台にあるむつみ町内への登り口にある第一公園、通称桜公園には、むつみ町内会の結成50周年に記念植樹された桜があり、平成26年1月吉日と刻まれています。そうすると今年には60年ということになります。

私がむつみ町内に移り住んだのは45年ほど前のことで、当時は稲成町という名称で呼ばれていました。むつみという地名になったのは私の父親が町内会長をしていた30年ほど前のことだと記憶しています。

地名の変更などもありましたが、変化ということを考えても、町内の様子もこの40数年で、変わったことも随分あり、時代とともに、町内会に対する皆様方の考え方の変化もあるものと思います。

しかし、いつかはやって来る可能性の高い震災に対する備え、防災、子供会など、住民のつながりが必要なことは言うまでもなく、住環境の整備などにも町内会の果たす役割は、小さくはないと考えております。

4月以来、小溝掃除や桜公園の花壇整備など、住民の皆様や役員一同で取り組んで参りました。その際に判明した町内側溝の不具合も町内会を通じて行政に報告し、整備していただきました。

その他にも6月からは、会館で、月に一度のいきいきサロンなども企画しております。コロナウイルス騒ぎで中止していた行事についても検討をしているところです。

多くの方々、町内会の活動にご理解、ご参加をいただきますことをお願いして、ご挨拶に代えさせていただきます。

むつみ町内会長 森脇 崇

令和6年度 危険物安全週間の実施について

6月2日(日)から6月8日(土)まで危険物安全週間です。事業所や個人での危険物の取扱いには十分気をつけましょう。

また、ガソリンを携行缶で購入される際は、右のとおりガソリンスタンドで確認を行いますので、ご理解とご協力の程よろしく申し上げます。

令和6年度危険物安全週間推進標語
次世代へ つなごう無事故と 青い地球(ほし)

ガソリンを携行缶で購入される皆様へ

ガソリンの適正な使用を徹底するため、ガソリンを携行缶で購入される方に対して、

消防法で ① **本人確認** (運転免許証の提示など)
② **使用目的の確認** を行うとともに、
販売記録を作成することが義務付けられています。